

安全の3原則

安全衛生のルールを守って職場災害を防ごう！

スポーツには“ルール”があるように、職場の安全衛生活動にもルールがあります。たとえば、規則・基準・標準・規律など、「人に迷惑をかけない」「自分がケガをしない」ためにつくられた貴重なルールは、あなたと働く同僚達との「安全の指針」ですから、しっかりと身につけておきましょう。

安全は与えられるものではなく、「自分の安全は自分で守る」が基本です。定められたルールに従うことはもちろん、作業するときは「安全の3原則」を正しく守って、災害ゼロの明るい職場をつくろう。

『安全の3原則』

1. **整理整頓**…整理・整頓する。
「整理・整頓・清掃・清潔」が出来ている。＝「躰」が身についている。
2. **点検整備**…自主点検を怠らない。
「始業時や使用前、設備機械・手工具・保護具などの点検を必ず行う」
3. **標準作業**…作業手順を守る。
「安全に作業を進めるため基本ルール」

災害の大部分を占めるのは、初心者の不慣れな作業と、逆に熟練者の過信による手抜きなどです。

私達の身近なところから職場でも、家庭でも「安全の3原則」を日頃から実践して、災害の未然防止と「危険ゼロ」の職場を構築しましょう。